

令和 4 年度 北河内薬事懇話会 議事概要

日時：令和 5 年 1 月 31 日（火）午後 2 時～4 時

場所：大阪府守口保健所 8 階講堂

■議題 1 地域連携薬局の現状と課題について

資料に基づき、大阪府薬務課及び大阪府守口保健所から説明

〔資料 1－1〕認定薬局制度について

〔資料 1－2〕北河内地区の地域連携薬局の状況について

- ・地域連携薬局は中学校区に 1 薬局以上、専門医療機関連携薬局については二次医療圏に 1 薬局以上を目指している。
- ・第七次大阪府医療計画の薬事・薬局関係の目標値は達成しているが、質を高めていけるように取り組んでいきたい。

■議題 2 各支部薬剤師会での取組状況について

資料に基づき、各支部より報告

〔資料 2〕かかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局関連

〔参考資料 1〕各支部薬剤師会での取組状況

○枚方市薬剤師会

- ・ケアマネージャー協会と共同の勉強会を令和 5 年 5 月から開始予定

○北河内薬剤師会

- ・多職種連携の各会議や市民講座等が新型コロナの影響で開催できていないものもあるが、今後再開していきたい。

○門真市薬剤師会

- ・三師会等関係機関と連携し、多職種連携の勉強会や在宅医療推進協議会を実施している。

○守口市薬剤師会

- ・専門医療機関連携薬局認定取得のモデルケースとなるべく、現在、守口市薬剤師会副会長が市内病院で研修を受講している。

○寝屋川市薬剤師会

- ・地域包括支援センターと市薬剤師会が中心となり、市内 12 圏域中 11 圏域で多職種連携会議を実施済み。残り 1 圏域も今後実施予定である。
- ・市民及び 1 小学校児童を対象にスポット尿検査を実施している。今後、検査結果に問題がある場合は、医療機関を紹介できる仕組みを構築したい。

■その他

資料に基づき、寝屋川市保健所より説明

[参考資料2] 北河内薬事懇話会 会長の輪番（案）

- ・案について了承された。

■質問・意見等

(大阪府からの質問)

専門医療機関連携薬局の申請にあたって課題はなにか。

(回答)

- ・研修受講と通常業務の両立が難しい。
- ・医師一人の診療所が在宅患者を診療するためには、多職種連携が重要になる。災害時の診療継続の方策について模索中である。
- ・歯科医師はHPKIカードの認証局がないため、電子処方箋の導入が難しい。
- ・がん患者の地域連携の手法としてトレーシングレポートを準備しているが、様式では、共通の副作用の項目を記入ではなく、チェックする方式を検討中である。

(大阪府からの質問)

[資料2] 健康サポート薬局欄について、守口市薬剤師会と北河内薬剤師会は、健康サポート薬局より地域連携薬局の件数が多いのはなぜか。

(回答)

- ・健康サポート薬局取得のための申請書類が多いという意見を聞いている。
- ・薬局ビジョンの中で地域連携薬局の位置づけが色濃くみえるため、健康サポート薬局より件数が多いものと考えられる。